



若竹だよい



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

願いを形に

園長 宮竹 恒

令和元年5月1日、学園では、バイキング食でお祝いしました。日本、そして世界中で、新しい時代の始まりに様々な期待が寄せられた一日であったと思います。

学園では、子どもたちに笑顔で過ごして欲しいという職員の願いから様々な計画を連休中に実行しました。初チャレンジの企画も多く、バイキング食もその一つでした。

自分で好きな物を選んで食べることは、当たり前なのですが、学園の生活では機会が少ないのが事実です。

子どもたちは、日頃、様々な思いを持ち生活をしています。中には、様々な過去の体験から、あきらめの気持ちを持っていることも多くいるように感じます。子どもたちにとって、自分の意見が言えて、願いが実現する経験をするには非常に大切であると思います。

子どもたちの願いについて、最近、気付かされることがありました。それは、食事に関することです。学園では、誕生日に自分の食べたい物をリクエストすることができます。以前、学園ではあまり出ない「納豆ごはん」を希望した子どもがいました。苦手な子どもが多いのではないかと心配しましたが、みんな完食しました。「美味しかった？」と聞くと、

「毎日でも食べられる」「学園で、もっと出して欲しい」と言うのです。こちらの思い込みがあったと気づかされ、他のメニューについても聞いてみました。

すると、「麺類はのびてしまうので、出来たてを食べたい」と言ってきました。そこで、うどんの日には、セルフうどん形式にチャレンジすることになりました。たくさんの具材（たまご・天かす・わかめ・ねぎ）を、わかりやすくするために、1人分ずつ小分けして置き、カードで1人1個と目で分かるようにしました。その結果、スムーズに暖かいうどんを食べることができました。

子どもたちの声を聞いていたと思っていましたが、本当の子どもたちの願いを聞く事が出来ていなかったのだと痛感いたしました。

今後も、子どもの願いを少しずつ、形に出来ればと考えています。

尚、「若竹学園 夏祭り」は、7月13日（土）実施に向けて子どもたちの願いを形に出来るよう準備中です。沢山の方のご来園をお待ちしています。

— 一 —

ご寄附

石丸製麺株式会社様より

たくさんのひやむぎをいただきました。

ありがとうございました。



青峰・若竹学級だよ

新体力テスト実施

5月17日に新体力テストの残りの種目（握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び）を学園のホールで行いました。



どの子どもも昨年度の記録を超えようと全力で取り組んでいました。自分の記録を更新して嬉しそうにしたり、越えられなくて再挑戦を願い出たりしていました。

坐禅

理事長先生にお願いして、喝破道場の坐禅堂を借りて本格的な坐禅に取り組んでいます。

「何も考えない時間」を体験しようと真剣に取り組んでいます。普段はなかなかじっとすることができない子どもも、この時は静かに座ることができています。中には終わった後、「頭がすっきりした」と気持ちよさそうに言う子どももいます。



最近では、瞑想（マインドフルネス）が心身に良い効果をもたらすことが科学的にも解明されてきており、今後もできる限り坐禅を取り入れていきたいと考えています。

1学期中間テスト

中学生は5月16日（木）～17日（金）の2日間、5教科のテストを実施しました。わからない問題にも粘り強く最後まで集中して取り組み、日ごろの勉強の成果を発揮できました。1年生にとっては初めての本格的なテストとなり、終わった時には疲れた表情を見せていました。



選択の活動

学期に数回程度、生徒が活動内容を考えて選択する活動をしています。この日は園庭でスポーツをするグループと教室でアクリル板工作をするグループに分かれて活動しました。どの生徒も集中して活動することができていました。



中学生も複式学級に

昨年度まで3名だった中学校の教員配置が本年度は2名に減ったため、学年ごとのクラス編成を維持することができなくなり、教科によって組み合わせる学年を工夫しながら複式で授業を行っています。異なる学習内容を同じ教室ですることによってストレスを感じる生徒もいますが、お互いに協力し合って学習に取り組むことができています。

小学校は以前から複式学級で学習していますが、学年の組み合わせや、実施方法などを工夫しながら対応しています。現在は、高学年と中学年の2つグループに分けて授業をしています。

遍路小屋花壇整備

小学校の総合的な学習の一環として、遍路小屋周辺の花壇を整備し、花の植え替えをしました。お遍路さんが多い季節でもあるので、訪れたお遍路さんがホッと一息つけるように心を込めて作業できました。



GW

今年のGWは、10日連休でした。子どもたちの喜ぶ顔を想像しながら計画を立て実行しました。大切な思い出がまた増えました。

公測公園に行きました。



4月27日、天気良かったので、みんなで車に乗って公園に出掛けました。ジャンプ力を競う珍しい遊具に挑戦したり、学園ではできないシーソーやブランコを仲良く楽しんだりしていました。きれいに咲く春の花々を摘んでいる子ども達もいました。



帰り道には、お菓子を食ったりジュースを飲んだりして、お腹も満たして帰りました。

初チャレンジ

ミニ運動会開催

5月4日ミニ運動会が開催されました。この日は天候にも恵まれ、運動会日和でした。運動会は職員も参加し、2班に分かれての対抗戦でした。中学3年生の子どもが各班のリーダーとなり、各班をまとめてくれました。ムカデ競争、パン食い競争、風船割りリレー



といったユニークな種目が多く、子どもたちの笑顔もたくさん見られました。



また運動会後に「負けたけど楽しかった」と話す子どもの姿も印象的でした。勝ち負けにこだわりすぎることなく、子どもと職員一同で楽しむことができました。



初チャレンジ

昼食にバイキング



5月1日の昼食はバイキングでした。いつもの食事より多くの食材が並び、子どもたちは、希望する料理を楽しんで選びました。自分で好きなものを選ぶ行為は、自尊感情を育む上で、非常に大切なことと思います。このような行事を通して、子どもたちが、少しずつ



自信をつけられるように、今後も努めていきたいです。

初チャレンジ

子どもの日！職員のお接待



5月5日、子どもの日は、おやつに職員が手づくりパフェでおもてなしました。いつもの食育とは違い、子どもたちが各々好きな味のアイス、トッピングのお菓子やフルーツを選んだものを、職員が形にして、一人一人オリジナルのパフェを食べました。普段の食事では、なかなか食べたい物を自分で選んだり、目の前で作ってもらったりする機会が少ないので、いつになく嬉しそうな様子でした。

野外炊飯

GW 最終日は災害時の非常食を使った昼食作りを行いました。男子は外で火熾しを女子



は食材を切る作業をお願いしました。食事作りを何度も経験している子は手際よく作業を進めてくれました。また自分の仕事が終わると積極的に



職員に「次何をしたらいい？」と尋ねて来る子がたくさんいたのですごく助かりました。

非常食のカップラーメンは普段の食事には出ないので子どもたちも嬉しそうに食べていました。

5月行事

4日	運動会
5日	おやつづくり
6日	野外炊飯
11日	図書館
17日	買物学習

在籍人数 平成31年6月1日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	5	0	5
	中学生	4	0	4
	計	9	0	9
女 子	小学生	3	0	3
	中学生	3	1	4
	計	6	1	7
合計		15	1	16

編集後記 新しい元号に変わり学園としても様々な活動に子どもたちと一緒にチャレンジしていこうと思っています。

田窪 識

第303発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒

